

学校教育目標	〇しっかりと考える子(問題解決力) 〇心やさしい子(人間関係形成力) 〇つよく元気な子(体力・活力)	ビジョン	【目指す学校像】	〇児童にとって充実した学校 〇保護者にとって信頼できる学校 〇教職員にとって働きがいのある学校
			【目指す児童・生徒像】	〇思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども〇感性あふれる豊かな心をもつ子ども 〇すすんで心と体を鍛えることができる子ども
			【目指す教師像】	〇ありのままの児童を受け止め、個性を發揮させる教師 〇授業で勝負できる教師 〇家庭・地域との相互理解を深め協働できる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	取組の進捗状況	今後の方向性
確かな学力	〇基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。	〇よく見て、よく聞き、よく考える力を培い、思考力・判断力・表現力を身に付けた子供の育成。	〇日々の定期テストや学力テストを実施し、年度始めと年度末のその結果や変化を分析する。	4 全教員が指導改善を図る。	3	4 学期末の成績で12学級以上で学力の向上がみられる。	未	各教科の基礎基本の定着に向けた授業改善及び教育課程の見直しを行い、子供たちの学習環境を整えることに加え、校内研究の成果と課題を見直し、主体的に学習に取り組めるよう授業改善に努める。成果指標に関しては、3学期に実施する全校学力調査をもとに、前年度と比較し、評価を行う。	昨年度の学力テストの結果を各学年分析し、成果と課題を共有する。そして学校全体の実態を把握し、次年度の校内研究の内容や主題につなげていく。
				3 80%～100%未満の教員が指導改善を図る。		3 学期末の成績で9～11学級で学力の向上がみられる。			
				2 70%～80%未満の教員が指導改善を図る。		2 学期末の成績で6～8学級で学力の向上がみられる。			
豊かな心	〇相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる豊かな心を育成する。	〇道徳科を道徳教育の要の時間と位置付け、教科横断的な視点で各教科にて、計画的・発展的に行うようにする。	〇学校司書が中心となり、ボランティアや委員会の活動等と連携を図り、子供たちの読書活動の一層の推進を図る。	4 全教員がアンケータから個々の児童に応じた指導を行った。	4	4 2回目の結果で12学級以上で学級満足群の向上がみられる。	2	今年度、3年生以上で行っているHyper-QUの6月の結果では、約65%の児童が学級生活満足群に属している。昨年度より、「学級経営」を軸とした校内研究を推進してきたことにより、3年前からの同時期の比較では、学級満足群が増加し続けている。	3年前から「非承認群」は、10～15%と一定の割合である。昨年度より、全教員で週に1時間計画的に、道徳の授業を実施している。
				3 80～100%の教員がアンケータから個々の児童に応じた指導を行った。		3 2回目の結果で9～11学級で学級満足群の向上がみられる。			
				2 70%～80%未満の教員がアンケータから個々の児童に応じた指導を行った。		2 2回目の結果で6～8学級で学級満足群の向上がみられる。			
健やかな体	〇自分の心と体の健康に関心を持ち、基礎的な体力と心身の育成と向上を図る。	〇児童体力・運動能力、生活運動習慣の向上に向け、運動の習慣化を図り、体力の向上を推進する。	〇体力向上プロジェクトや短なわや長なわの取組を実施し、運動することの楽しさやよさを味わわせる。	4 全教員が計画を活用した指導を行った。	未	4 調査結果が昨年比平均ポイントから+2ポイント以上	未	体力向上プロジェクトの一環として、運動委員会の児童を中心に休み時間を利用して体力テストの練習会を実施した。また、体力向上部を中心に体力テストの結果を分析し、今年度の成果と課題を検討し、3学期や次年度の活動に向けて準備を進めている。	2・3学期は縄跳びの取り組みや「休み時間外出しうけ」を実施する予定。体力テストの結果から全国平均と比較して成果や課題を分析していく。
				3 80%～100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		3 調査結果が昨年比+2ポイント			
				2 70%～80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		2 調査結果が昨年比-2ポイント以内			
輝く未来	〇子どもたちが自立できる基礎を培う。また、日本の伝統・文化の良さを理解し郷土を愛する態度を育成する。	〇幼児・小中が連携し、児童が安心して進級・進学できるようにする。	〇幼児小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4 全教員が計画を活用した指導を行った。	4	4 90%以上の児童が目標を達成している	4	自分の将来について考えながら、自らの学びや成長を振り返り、自己理解を深めていくために、「自分の目標をもって行動する力を育む」学びの記録を蓄積し次の学びにつなげる」といった視点で共有し日々の教育活動を振り返り取り組んでいく。	瑞雲学区の学校ともキャリアアルバムの内容を共有したり、今回でキャリアアルバムの用紙や振替り時の視点などを適宜見直したりし、より価値のある活動となるよう工夫して取り組んでいく。
				3 80%～100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		3 80%～90%未満の児童が目標を達成している			
				2 70%～80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		2 70%～80%未満の児童が目標を達成している			
輝く未来	〇文化・スポーツ・高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年設定する。	〇文化・スポーツ・高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年設定する。	〇文化・スポーツ・高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年設定する。	4 全教員が計画を活用した指導を行った。	4	4 90%以上の児童が目標を達成している	4	自分の将来について考えながら、自らの学びや成長を振り返り、自己理解を深めていくために、「自分の目標をもって行動する力を育む」学びの記録を蓄積し次の学びにつなげる」といった視点で共有し日々の教育活動を振り返り取り組んでいく。	瑞雲学区の学校ともキャリアアルバムの内容を共有したり、今回でキャリアアルバムの用紙や振替り時の視点などを適宜見直したりし、より価値のある活動となるよう工夫して取り組んでいく。
				3 80%～100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		3 80%～90%未満の児童が目標を達成している			
				2 70%～80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		2 70%～80%未満の児童が目標を達成している			
輝く未来	〇家庭・地域の声を活かすとともに学校の教育活動を情報発信していく。	〇家庭・地域の声を活かすとともに学校の教育活動を情報発信していく。	〇家庭・地域の声を活かすとともに学校の教育活動を情報発信していく。	4 全教員が計画を活用した指導を行った。	4	4 90%以上の児童が目標を達成している	4	自分の将来について考えながら、自らの学びや成長を振り返り、自己理解を深めていくために、「自分の目標をもって行動する力を育む」学びの記録を蓄積し次の学びにつなげる」といった視点で共有し日々の教育活動を振り返り取り組んでいく。	瑞雲学区の学校ともキャリアアルバムの内容を共有したり、今回でキャリアアルバムの用紙や振替り時の視点などを適宜見直したりし、より価値のある活動となるよう工夫して取り組んでいく。
				3 80%～100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		3 80%～90%未満の児童が目標を達成している			
				2 70%～80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		2 70%～80%未満の児童が目標を達成している			